

在宅医療・介護多職種連携協議会

啓発・広報部会

～報告～



目 的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙わがやの発行
- その他、在宅医療に関する啓発関係の検討

内 容

<p>第 1 回部会 令和 5 年 6 月 1 2 日 参集会議</p>	<p>報告 令和 4 年度部会活動報告 地域啓発活動（在宅医療出前講座） 在宅医療情報紙「わがや」21号</p> <p>議事 啓発で目指す市民の姿から考えるこれからの取組みについて 対策の検討（手段の具体化）</p>
--	--

報告(1) 部会活動 令和 4 年度総括

<令和4年度の取り組み>

無関心層をターゲットとした企画を実施。

企画	概要
ENEOSサンフラワーズの選手へのインタビュー記事の掲載（「わがや」第20号）	<ul style="list-style-type: none"> ・新人 3 選手と市立柏高校生徒と一緒に学ぶ出前講座を実施（R4.5.30） ・渡嘉敷来夢選手へのインタビューを実施（R4.6.20） ・わがや20号と市ホームページで、当日の様子を紹介
「スープレシピ 5 選」 レシピコンテストの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大切な人への想いを込めたスープレシピの募集 ・1次審査（R5.1） 2次審査（R5.2） ・わがや特別号にて特集（R5.9発行予定） ・道の駅しょうなんで期間・数量限定メニュー化（R5予定）
「わがや」20号（R4.9） ・21号（R5.3）の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・20号「『支える』『支えられる』ことの大切さ！」をテーマに、ENEOSサンフラワーズとコラボ企画を特集 ・21号では、「今からできる介護への備え」をテーマに、介護者へのインタビュー記事を掲載

令和4年度 実施状況

対象	申込件数	実施回数 (多職種講演回数)	参加人数 *延数
老人会・サロン・町会など	10	10 (0)	184
民児協・地区社協・ふる協	1	1 (0)	24
その他 (市民団体, NPO等)	1	1 (0)	22
合計	12	12 (0)	230

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の内容を含めた講座や

柏市社会福祉協議会発行の『わたしの望みノート』の啓発講座とコラボした講座も行っています!



(H30年度実績: 計33回/1,280名)
(R01年度実績: 計23回/ 706名)
(R02年度実績: 計 4回/ 53名)
(R03年度実績: 計 9回/ 209名)

《令和5年度 申込状況》

令和5年6月12日時点で申込件数は5件

《参加者からいただいた声》

- 柏市に住んでよかったと思えるような取り組みを聞いて、すこし安心しました
- 具体的にどうすればよいか、相談できる所はどこかを知ることができてよかった
- 関わってくれる専門職の方々の連携の広さや密さが、患者には助かり、ありがたい
- 経験したことがないので、今回の講座を通じて、実際に適切な行動がとれるか自信はないのですが、前もって知っておくことは大切だと実感しました
- とても丁寧に説明してもらったが、やはりその場にならないと実際には動けないと思った



報告(3) 在宅医療情報紙「わがや」について

■在宅医療情報誌「わがや」 | 21号発行 (令和5年3月発行)

子育て世代・働き盛り世代をターゲットとして作成しました

今からできる介護への備え

表面

裏面



わがやクイズ応募者: 104名

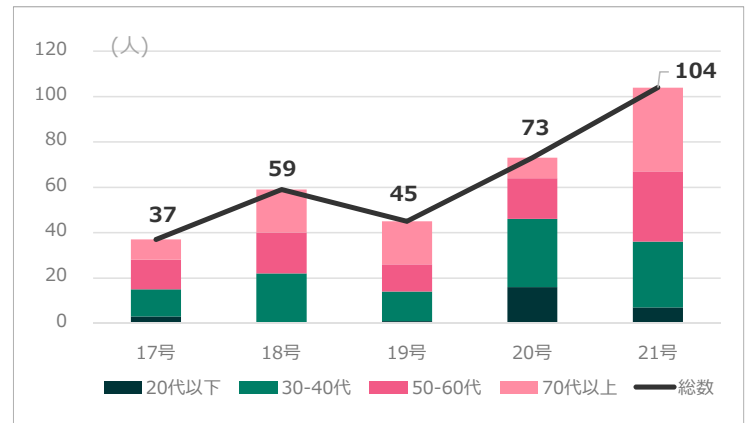
応募総数が過去最多に

テーマ設定や見やすさ、応募方法の見直し (※)

をしたことで、世代を問わず多くの人に手に取ってもらえた

※20号からLogoフォーム (QRコード) による応募を可能に

⇒8割以上がフォームによる応募 (20号: 61件, 21号: 86件)



課題意識 市民啓発を通して、**市民にどうなって欲しいのか**
柏モデルが10年経過した今だからこそ

目指す市民の姿の設定が必要ではないか

連携協議会で示された方向性や柏市の介護保険事業計画（通称：いきいきプラン21）から**目指す姿を作成**しました。

連携協議会で示された方向性

市民が希望する治療や介護、療養場所に関する意思表示の大切さについて理解できる情報発信、市民啓発の充実

介護保険事業計画における目指す姿

すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち

目指す市民の姿

**ひとりでも多くの市民が
人生の最終段階の暮らし方について
近しい人と日頃から繰り返し話し合っている状態**

※啓発活動は、「いくつになってもその人らしく暮らせるようにする」ための手段の1つ

4

問題（テーマ）に対する原因の深掘りと具体的な対策の検討（グループワーク）

テーマ：

「人生の最終段階の暮らし方について、話し合いの大切さを理解していたとしても、近しい人と、元気なうちから話し合えていない」

令和4年度第3回部会のグループワーク（原因の深掘り＝解決すべき課題）で出た課題（まとめ）

- ① 人生最終段階の**具体的なイメージがない**
- ② 最終段階を迎えるために必要な**情報の提供が不足**している
- ③ 話し合うことによる**メリット**、話し合っていないことによる**デメリット**がわからない
- ④ 大切さは理解はしていても、**きっかけ**や**タイミング**がない
- ⑤ ネガティブなことなので、**話す気が進まない**
- ⑥ **自分事になっていない**（実感が湧かない）

令和5年度第1回部会のグループワークでは、**目指す市民の姿に向けて**

解決すべき課題に対する**具体的な対策（手段）**を検討しました。

5

グループワークの結果

目的：目指す市民の姿に向けて、解決すべき課題に対する具体的な対策(手段)の検討

対策案（一部抜粋）

- ・自身の人生最終段階をどう迎えたいか話し合う機会を持つ（お寺でお茶会，サロンなど）
- ・体験談を聞く機会を設ける（学校やサロンなど）
- ・近い人と話す前に，近しくない人（家族以外など）と話す機会を持つ（きっかけ作り）
- ・専門職による「介護」をテーマとした授業をし，授業参観で親に見てもらう（専門職による出前講座）
- ・教育現場で教材or行事として扱ってもらう（市立柏高校など）
- ・教材，冊子を学校，かかりつけ医などで配布する
- ・一般市民向け（特に若年層向け）に漫画，PR動画，ドラマを制作する
- ・「終活」という言葉に実感が湧かない（⇒自分事を感じられる代替の言葉を使って啓発する）
- ・デジタルサイネージでCMを流す
- ・かかりつけ医から，救急搬送や延命ということについての話を聞く機会を持つ（重要な指針になる）



グループワークで出た意見をもとに，実現可能性などの点から内容を整理・検討し，第2回部会では，実際に実施することを前提とした，対策の企画会議を進めて参ります。

今後の予定

第2回部会（9月20日水曜日）

- ・ 事業内容の具体化
- ・ わがやのテーマ検討

第3回部会（1月下旬頃）

- ・ 指標設定（事業進捗／評価）
- ・ 次年度の取組みについて（確認・検討）
- ・ わがや22号（R6.3発行）の校正

